

一般定員
先着 50 名

参加
無料

ポーランド共和国を知ろう!

2024年に文京学院は100周年を迎えますが、2010年より10数年にわたって、本学の学生達が、3年に1度、ユーラシア大陸の国々の大学の学生達と交流を深めていこうというのが「新・文明の旅」プログラムです。今回は、第2回(2015年)訪問国の駐日ポーランド共和国の副大使をお招きして、記念講演を開催します。

文京学院創立100周年企画 主催：文京学院大学

「新・文明の旅」プログラム記念講演



「ポーランドの政治・経済・歴史・文化から探る 日・ポーランド関係の将来」 (通訳付)



講師：ピョートル・ショスタック 駐日ポーランド共和国副大使
Mr. Piotr SZOSTAK, Deputy Head of Mission and Counselor,
Embassy of the Republic of Poland in Japan

日時：2013年10月19日(土) 15:00～16:30(開場14:30)

会場：本郷キャンパス B館 8F812 Wing Hall
(東京メトロ南北線「東大前」駅 2番出口すぐ)



ワルシャワ王宮



マルボルクのドイツ騎士団の城



スヴァウキ公園の風景

写真提供：ポーランド共和国外務省

Republic of Poland(ポーランド共和国)

ポーランドは、1918年に独立したものの、ロシア、ドイツに挟まれ、第2次世界大戦中は分割占領され、大戦では人口の5分の1に上る犠牲者を出し、ソ連体制下に入らざるを得ませんでした。89年に非社会主義政権が発足し、99年にはNATOに、2004年にはEUに加盟しました。日本は1919年にポーランドを承認しましたが、それに先だって日本赤十字社がポーランドから孤児達を受け入れています。

ポーランドと日本の文化交流は活発で、日本語学習者数は約4,000名を数えます。1994年11月、クラクフ市に日本の浮世絵(約5000点)等を展示した日本美術技術センター(現在の名称は「日本美術技術博物館」)が開館。2002年には両陛下が同センターを訪問されています。

2007年、2009年にはそれぞれ日・ポーランド国交回復50周年、および、日・ポーランド国交樹立90周年を祝いました。2013年6月には安倍首相がポーランドを訪問。

2010年のショパン生誕200周年の機会には、日本から多くの訪問客がポーランドを訪れ、様々な記念行事やコンサートに参加しました。

ポーランドでは、空手、柔道、合気道、剣道など日本の武道が盛んです。また、日系企業284社が進出(2011年末時点)しており、最近では、製造業に加え、エネルギー・金融関係でも進出実績があります。このように日・ポーランド関係はとても良好です。

今回の講演では、ポーランドの歴史、文化やEU加盟後の経済的な発展を踏まえた上で、日・ポーランド関係の将来についても展望していただきます。ポーランドの人達は日本にどのようなイメージを持ちまたどのような期待をしているのでしょうか。EUに加盟した後、ロシアとの関係はどうなっているのでしょうか。

面積：32.3万平方キロメートル 人口：約3,820万人(2010年) 首都：ワルシャワ(約172万人)

民族：ポーランド人(約97%) 言語：ポーランド語 宗教：カトリック(約88%) (外務省、ジェットロ資料も参考に作成)

* 講演時のカメラ・携帯等での撮影等は禁止とさせていただきます。また、講演中の飲食・途中退場はご遠慮願います。



< 講演会お申込みについて >

○受付期間：8月19日(月)～10月11日(金)

○お申込み方法

電話：文京学院大学 総合企画室 Tel 03-3814-1661(代)(平日のみ 9:00～16:00)

H P：本学ホームページ(<http://bgu.ac.jp>)の「駐日ポーランド共和国講演会申込」より必要事項をご記入の上、お申込みください。

◆お申し込み受付後に「受講票」をお送りします。